

八丈町防災マップ

防災マップについて

東日本大震災による津波は、これまでの想定を上回る規模で、東日本の太平洋沿岸の広大な範囲に甚大な被害をもたらしました。八丈島においては、1.4mの津波が観測されました。

過去には、1605年の慶長地震では10～20m、1707年の宝永地震では4mの津波が記録されています。また、国の南海トラフの巨大地震による津波予測では、最大17mの津波が予想されています。

一方、東京都大島町では、平成25年10月、台風に伴う大雨によって、全半壊約90戸という大規模な土砂災害が発生しました。

この地図は、避難所の場所、各地の海拔値、及び海拔30mより低い地域、土砂災害危険箇所を示したものです。土砂災害危険箇所は、地形図確認などにより危険箇所を把握して作成した東京都建設局の「土砂災害危険箇所マップ」から引用しています。

この地図に図示したそれぞれの土砂災害危険箇所における土砂災害発生危険性は、雨の降り方や地盤条件によって異なります。なお、現在、八丈町には土砂災害警戒区域に指定された箇所はありません。

万一の災害発生時の備えとして、この地図を見て、近隣にどのような災害の危険があるのかをご確認ください。

平成26年10月 八丈町 総務課 電話:04996-2-1121

大雨特別警報・大雨警報・大雨注意報

大雨が予想される場合、気象庁が大雨特別警報、大雨警報、大雨注意報を発表します。

分類	発表基準	解説文
大雨特別警報	数十年に一度の大雨や台風などの発生が予想される場合	直ちに命を守る行動をとってください。 ①避難勧告等に従い、直ちに避難してください。 ②外出することが危険な時は、家の中で少しでも安全な場所へ移動してください。
大雨警報	3時間雨量 120mm	①危険な場所に近づかないでください。 ②避難の準備をしてください。 ③早めの自主避難、または避難勧告等に従い避難してください。
大雨注意報	3時間雨量 80mm	①気象情報や外の様子に注意してください。 ②非常持出品や避難所、避難経路を確認してください。 ③災害に備えて、窓や雨戸など屋外の点検をしてください。 ④避難行動要支援者は、早めに避難してください。

防災マップの使い方

ステップ① まず、自宅の位置を確認しましょう。

私の家はココね、要チェック!

自宅の位置と海拔や土砂災害危険箇所を確認し、津波や土砂災害が発生した時に、どのような行動をとるべきか普段から考えておきましょう。

ステップ② 次に、自宅や職場付近の避難所を確認しましょう。

〇〇小学校が避難所だね

避難所の位置を確認し、自宅からの距離や海拔を確かめましょう。

ステップ③ 低地や危険箇所を避けて、避難経路を設定しましょう。

深く浸水する溝や土砂災害危険箇所は、避けるようにしましょう。

低地や土砂災害危険箇所がある場所を避けて、避難経路を設定しましょう。

ステップ④ 実際に避難経路を歩いてみて、安全か確認しましょう。

こっちの道の方がいいかな。

家庭や地域で話し合いながら、実際に避難経路を歩いてみましょう。

大津波警報・津波警報・津波注意報

津波の発生が予想される場合、気象庁が大津波警報、津波警報、津波注意報を発表します。

分類	発表する津波の高さ 数値表現	定性的表現	解説文
大津波警報	10m超 10m 5m	巨大	①大きな津波が襲い甚大な被害が発生します。 ②沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。 ③津波は繰り返し襲ってきます。警報が解除されるまで、安全な場所から離れないでください。
津波警報	3m	高い	①津波による被害が発生します。(以下、大津波警報の②・③と同様)
津波注意報	1m	(なし)	①海の中や海岸付近は危険です。 ②海の中にいる人は直ちに海からあがって、海岸から離れてください。 ③潮の流れが速い状態が続きますので、注意報が解除されるまで海に近づいたり近づかないようにしてください。

土砂災害の種類と前兆現象

土砂災害は、大きな破壊力を持つ災害であり、発生場所や発生時刻を正確に予測することが難しい現象です。下記の土砂災害の種類や前兆現象を理解して、土砂災害の危険を察知したら、直ちに避難してください。

●急傾斜地崩壊の前兆現象

① かけから小石がバラバラと落ちてくる。
② かけから水が湧き出ている。
③ かけに割れ目が見える。

●土石流の前兆現象

① 川の流れがにぎり、流木が混ざりはじめる。
② 雨は降り続けているのに川の水量が減る。
③ 山鳴りがする。

●地すべりの前兆現象

① 沢や井戸の水が濁る。
② 地割れができる。
③ 斜面から水が噴き出す。

八丈島における津波の状況

西暦	地震名	マグニチュード	津波の高さ(八丈島)
1498年 9月20日	明応地震	8.6	4m
1605年 2月 3日	慶長地震	7.9	10~20m
1677年11月 4日	延宝地震	8.0	3~4m
1703年12月31日	元禄地震	8.2	3m
1707年10月28日	宝永地震	8.4	4m
1960年 5月22日	チリ地震津波	8.5	60cm
1972年12月 4日	八丈島東方沖地震	7.2	42cm
1978年 1月14日	伊豆大島近海地震	7.0	12cm
2011年 3月11日	東北地方太平洋沖地震	9.0	1.4m

避難場所・避難所一覧

地区	名称	海拔(m)	地区	名称	海拔(m)
三根	三根公民館	54	大賀郷	八丈高等学校	53
	三根小学校	62		多目的ホール おじゃれ	73
	富士中学校	65		榎立公民館	137
	富士グラウンド	63		榎立運動場・屋内運動場	168
	むつみ保育園	58		中之郷	中之郷公民館
むつみ第二保育園	45	三原小学校	137		
コミュニティセンター	82	三原中学校	137		
保健福祉センター	82	あおぞら保育園	140		
大賀郷公民館	55	中之郷運動場・屋内運動場	140		
大賀郷	大賀郷小学校	61	末吉	末吉公民館	94
	大賀郷中学校	51		末吉運動場・屋内運動場	95
	若草保育園	63			

いざという時の連絡先

名称	電話番号	名称	電話番号
八丈町役場	04996-2-1121	八丈島警察署	04996-2-0110
八丈消防本部	04996-2-0119	東京都八丈支庁	04996-2-1111

●火事・救急119 ●警察110 ●海上保安庁118 ●災害用伝言サービス171

気象情報

気象庁は、特別警報・警報・注意報に先立って注意を呼びかけたり、特別警報・警報・注意報を補充したりするために気象情報を発表しています。土砂災害の発生に関する気象情報には、以下のようものがあります。

土砂災害警戒情報

大雨による土砂災害発生危険度が高まったとき、避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるように発表される情報です。

記録的短時間大雨情報

大雨警報発表時に、現在の降雨がその地域にとって災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量(1時間雨量100mm以上)であることをお知らせするために発表するものです。

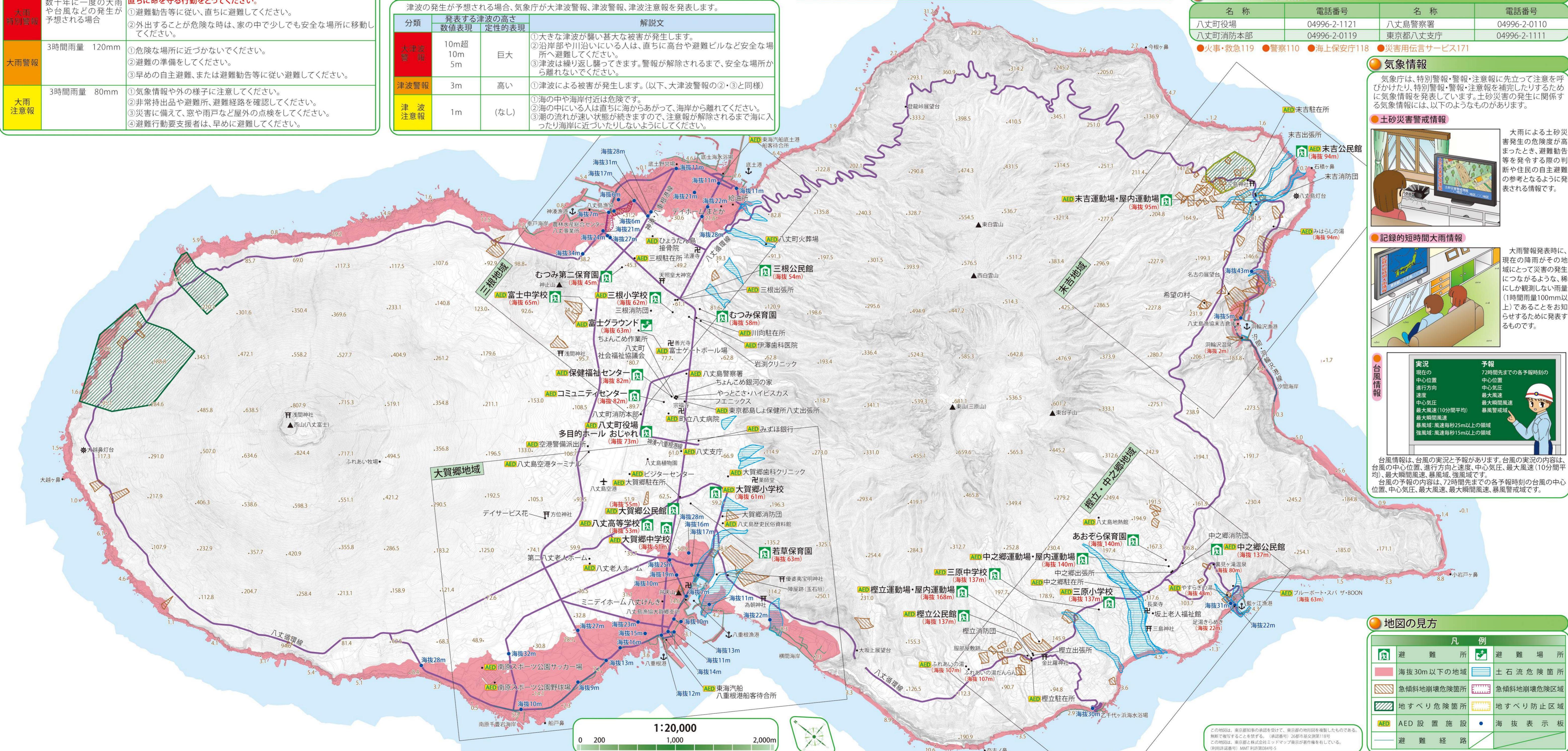
台風情報

実況	予報
現在の中心位置	72時間先までの各予報時刻の中心位置
進行方向	中心気圧
速度	最大風速
中心気圧	最大瞬間風速
最大瞬間風速	暴風警戒域
暴風域	暴風域
暴風域	暴風域
暴風域	暴風域

台風情報は、台風の状況と予報があります。台風の状況の内容は、台風の中心位置、進行方向と速度、中心気圧、最大風速(10分間平均)、最大瞬間風速、暴風域、暴風域です。台風の予報の内容は、72時間先までの各予報時刻の台風の中心位置、中心気圧、最大風速、最大瞬間風速、暴風警戒域です。

地図の見方

凡例	
	避難所
	避難場所
	海拔30m以下の地域
	土石流危険箇所
	急傾斜地崩壊危険箇所
	急傾斜地崩壊危険区域
	地すべり危険箇所
	地すべり防止区域
	AED設置施設
	海拔表示板
	避難経路



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都の地図利用を権利したものである。無断で複製することを禁ずる。(印刷番号) 2024年8月現在(第11版) この地図は、東京都知事承認を受けて、東京都の地図利用を権利したものである。(印刷番号) 2024年8月現在(第11版) (印刷番号) 2024年8月現在(第11版)